

2年生

教 科	成 果	課 題	重点取り組み
国語	- 文章を読んで、場面の様子や登場人物の行動などを捉えることができた。 - 物語を読んで、自分の考えをもち、友達と伝え合うことができた。 - 学習に興味をもち、いろいろな活動にすすんで取り組むことができた。	◎句読点の打ち方、かぎ（「 」）の使い方など、文を書く時のきまりが定着していない児童が多い。 - 漢字の読み書きについて、定着の度合いに個人差が大きい。 - 文章を正しく丁寧に読むことができない児童がおり、読み間違いや勘違いが多い。	- 短文を作る練習を通して、文章の中で学習した漢字を使えるようにするとともに、句読点の打ち方、かぎの使い方、助詞の「は」「へ」「を」の使い方など、正しい表記ができるように指導していく。 - 読書の体験を増やし、文を読むことへの抵抗感を軽減して、正しく文意を捉えられるように指導する。
算数	- 計算の仕方などを説明する活動を多く取り入れたことにより、相手を意識して説明できるようになった。 - 計算練習をたくさん行ったことにより、基礎的な計算能力が身に付いてきた。	◎長さやかさなど、量感を伴う学習が苦手な児童が多い。 - 学習の定着度合いの個人差が大きい。 - 課題を早く終えようとして、確認が不十分なところがある。 - 時計が読めない児童や、時刻と時間の区別がつかない児童がいる。	- 長さや水のかさなどを算数の時間だけでなく、生活の中でも触れられるように工夫していく。 - ドリルパークを活用して復習に取り組ませる。
生活	- 野菜の栽培、生き物の世話をする活動を通して、植物や生き物を大切に育てたいとの思いをもつことができた。 1年生との学校探検を行うことにより、2年生としての意識や責任感をもって学習に取り組む姿が見られた。 - 児童館に興味をもち、主体的に活動することができた。	- 育てている野菜の栽培や生き物を世話することに対して、自分の思いや考えを自由に表現したり、気持ちを深めたりすることに個人差がある。 - 意欲的にリーダーシップをとって活動する児童と、目的を意識しないで活動する児童で差が見られた。 ◎活動に対するめあてを意識していない児童の姿が見られた。	活動目的を全員が明確にもつことができるように、指示や活動内容を分かりやすいものにしたり、一人一人に明確な役割が与えられるような学習活動にしたりする。また、活動に対する意欲を高めるために、児童の思いや願いが生きる場面を各単元の中に取り入れるなどの工夫をする。

音楽	・曲想を感じ取ったり、歌詞の表す情景を想像したりし、楽しさを感じながら歌唱することができた。 ・拍のまとまりを感じながら、正しくリズム打つことができた。	◎音楽を聴いて感じ取ったことを、自分の言葉で伝えることが苦手な児童がいる。 ・鍵盤ハーモニカの演奏について、指の移動がうまくできず、演奏の際に鍵盤から指が離れてしまう児童がいる。	・音楽を聴いてどの児童もイメージが湧くように、曲の背景においての児童が知っていることを発表する機会を増やす。 ・階名唱を繰り返したり、指番号で歌ったりする活動を通して、十分に曲に慣れ親しませる。また、鍵盤と手の関係を表す図を黒板に貼るなど、指が鍵盤から離れないための演奏の指導を行う。
図工	・自分なりの思いをもって、最後まで楽しく取り組むことができる児童が多い。 ・友達の作品を熱心に鑑賞して、鑑賞することを楽しんだり、良いところを見つけたりできる児童が多い。	◎友達と仲良く活動できる反面、自分だけのアイデアをもって工夫したり、自分なりの思いを表したりすることが難しい児童がいる。	・制作の過程の中で、個々の児童へのひらめきや表現を肯定的に受け止め、称賛する声掛けをし、自分らしさへの自信につなげていく。
体育	・運動を楽しんで取り組むことができている。 ・水遊びの学習では、意欲的に取り組み、水の中にもぐったり、浮いたりできるようになった。	・運動能力（技能）に差がある。 ◎自分で運動に対する工夫を考え、友達に伝えることが難しい児童が多い。	・よい動きや考えをしている児童を取り上げ、技能ポイントに気付かせることで、運動技能や思考力の向上を図る。